

2025 年 7 月 2 日

株式会社 P A L T A C  
株式会社あらた

## **PALTACとあらた、物流における協働取組を始動 ～競争から、協働、そして共創へ～**

株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 吉田拓也、以下PALTAC)と株式会社あらた(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 東風谷誠一、以下あらた)は、持続可能な流通インフラの「共創」を目指し、「非競争領域」における協働を推進することとし、その第 1 段として 2025 年7月より西関東エリアにおける共同配送(以下本取組み)を開始しましたのでお知らせします。

### 《目的と意義》

PALTAC とあらたは、化粧品・日用品など生活必需品の中間流通を担う中核の企業として、両社合計で年間2兆円を超える商品を取り扱い、それぞれ「暮らしの豊かさ・快適さ」や「社会への貢献」を根幹とする企業理念に基づき、全国規模の流通インフラを構築・運営しています。

近年、少子高齢化の進行に伴って労働人口が減少し、日本国内の物流業界ではトラックドライバーをはじめとする人手不足が顕在化し、このままでは 2030 年には国内の荷物の約 3 分の 1 が運べなくなるとも言われており、社会的な課題となっています。この課題に対応するために、両社は業界全体で協力し、協調して取り組む必要があるという共通の認識に至りました。

そこで、この課題への対応策として非競争領域である配送において協働での取組みを開始します。持続可能な流通インフラの共創を目指し、競争関係にある両社が協力し業界全体の発展に向けて取り組む意義は大きいと考えています。今後も非競争領域における連携・協働により、社会的課題への対応を推進し、サステナブルな社会の構築に貢献していきます。

(本取り組みのスキーム図(赤字が変更点))



#### 《本取り組みのスキームと効果》

両社の拠点及び納品先店舗の位置関係を踏まえ、出荷拠点の見直しや配送距離を最適化したルート設計により、共同配送を実現。

本取り組みに期待される効果は以下の通りです。

- ドライバー不足への対応:トラック台数の削減による必要人員の減少
- 環境負荷の軽減及び物流コストの最適化:積載効率の向上、走行距離の短縮、トラック台数の削減による CO2 排出量の削減及び物流コストの最適化
- 店舗オペレーションの効率化:荷受回数の減少による店舗作業負担の軽減

#### 《今後の展望》

本取り組みを契機に、両社は他の配送先店舗や地域での共同配送をはじめ、非競争領域におけるさらなる協働の可能性を模索し、順次展開していきます。あわせて、本取り組みを通じて培ったノウハウを協働ネットワークの拡大に活用し、持続可能な流通インフラの共創をサプライチェーン全体へと広げていきます。今後も、PALTAC は「つなぐ力で人と社会のミライを創る」、あらたは「夢をかなえる。暮らしを変える。」というビジョンのもと、「豊かで快適な暮らし」を未来へとつないでいきます。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

《PALTAC》

物流本部・八木 (TEL 06-4793-1075)

経営企画本部・嶋田 (TEL 06-4793-1090)

《あらた》

コーポレートガバナンス統括本部・土谷

(TEL 03-5635-2800)

首都圏支社・前川 (TEL 03-6757-8600)